



社長の退職金代わりに！？

企業型DC（企業型確定拠出年金）

『会社の経費で、あなたの未来を守る。新しい退職金の仕組み』



税・社保ゼロで積み立て

税金も社会保険料もかからず
そのまま退職金として積み立てできます。



会社の経費で準備できる

積み立て金は全額「会社の経費」にできます。
法人税の節税効果も見込めます



老後資金を確実に確保

無駄なく計画的に老後資金を準備できる。

年間66万円（月額55,000円）を
全額損金で処理できます。

事例

黒字企業 A社の社長が
企業型DCを導入。

掛金66万円を経費処理

したことで、

法人税の課税所得が減り、

約15万円の法人税軽減効果。



本人のDC口座に積み立て
拠出分は**非課税**で積み立てが可能。

事例

66万円を全て役員報酬で
受け取るだけだと、

約20万円が税金・社保で差し引かれ、
手取り46万円に...

企業型DCなら

66万円満額が将来資産に！



60歳以降に一時金or年金
受け取り運用方法も **選択自由**

事例

**自分にあった
運用方法を選べる！**

元本重視⇒定期預金

資産増加⇒投資信託



従業員も任意加入が可能
福利厚生制度として活用できる。

事例

社員の**福利厚生**として
月1万円ずつ導入。

退職金がわりに積立。

社員満足度の向上に貢献し、

社員の定職率が改善。



企業型DC制度の使い方

Step1

毎月の積み立て

社長・役員の役員報酬からは引かず全額会社が負担

税制優遇あり！

掛金は損金扱い、
運用益は非課税



Step2

運用商品の選択

投資信託・定期預金などから商品を自由選択。

**運用は個人の自由！
退職時には移行も可能！**



退職・転職時に
iDeCo等へ移行可能！

Step3

選べる引き出し方法

原則途中で引き出しは不可能。
全員に共通する老後問題について

老後資金を確実に貯められる！



老後資金を準備するうえで、
今最も効率よく貯めることができる制度になります。

企業型DC・iDeCo・NISAの比較

	税制メリット	積立上限額	手元資金の目減り	法人への効果
企業型DC	全額損金 運用益非課税 社会保険負担無し	年66万円 (月々55,000円)	非課税で満額拠出	法人税・ 事業税への節税
iDeCo	運用益非課税 所得控除	年81.6万円 (職業により変動あり)	手取りからの拠出 (社会保険料の対象)	法人への 影響なし
NISA	運用益非課税 (控除無し)	年360万円 (新NISA)	手取りからの拠出 (全額課税済み)	法人への影響 なし

よくあるご質問

Q&A

Q,社員全員が加入できますか？
A,厚生年金加入者が対象となります。

Q,社長一人だけでも導入可能ですか？
A,導入可能です。

Q,転職時はどうなりますか？
A,iDeCoへの資産移管が可能となります。

Q,他の制度との併用は可能でしょうか？
A,中退共等、他の制度と併用可能です。

